

平成30年度事業報告書

特定非営利活動法人 日本創造力開発センター

I 事業期間

平成30年10月1日～令和元年9月30日

II 事業の成果

1. 事業の成果

13 期目の「等価変換創造理論」の普及活動については、コンテンツ制作と各種団体・組織へ研修・セミナー事業への提案活動を推進してきました。

一般向けのセミナー開催は、平成 29 年 10 月、鹿児島で「子どもの創造能力を開発する立場から」というテーマで医療関係者にプレゼンしてきました。今後もこの機会を得た人脈を活かし継続的にコンタクトしていくことにします。

また、平成 30 年 12 月と平成 31 年 3 月「子どもの創造性を育む指導者養成講座」を開設し、5 名に認定証を発行しました。この受講者の方々が中心となって「キッズとうかスクール」の運営を令和元年 6 月から開始されました。

昨年度に制作した子ども向け「とうか絵本」**どこがおなじかな**と**なにがおきるかな**の小型版に引き続き、今年度は、**とうか絵本「水族館 上・下」「四季 春夏秋冬」**4 部作の合計 8 冊の絵本を制作しました。

この絵本の印刷費用に多大な寄付金を提供していただきました。

次に、令和元年 6 月、10 年前に商標登録している「とうかカード」「とうかかめ」の 2 件の更新手続き完了し今後 10 年間の使用が可能となりました。

9 月には、ファシリテーターの要望により子ども向け「とうかカード 読み上げ文章 五七五」のコンテンツができました。来年度には文字かめの制作につなげていきます。

課題は、新規とうかカードやとうか絵本の制作・印刷費用の確保です。その費用捻出のため、これまでの制作物の販売促進と各方面に寄付金のお願いをしていきたい。

《主な成果》

- ・ 子供向けの創造性開発の一環として、平成 17 年に CSK 大川センター（現 SCSK 社）との協力で開始した子供向け「CAMP 発明ワークショップ」も今年度 7 月（大阪）開催で、累計 32 回になりました。
- ・ 社会人向けの J T E X 通信教育講座の「ものづくりアイデア自由自在」は、講座開講して順調に推移し令和元年 9 月末で受講者累計 2,174 名を超えて11期間に推移しています。（昨年 から 111 名の受講者増）
- ・ 続編の「身近なものに学ぶものづくりのヒント」の講座も平成 25 年 10 月講座開講となり令和元年 9 月末で累計 817 名となっている。（昨年 から 66 名増）と着実な伸びとなっています。

以上

